



代塚山周辺のブナ林を堪能

飯豊 白布沢十五黒沢、よもぎ沢

煤孫

【日時】 2009年10月11日(日)～12日(月)

【メンバー】 L鈴木、SL浅井、煤孫、坂村

鈴木さんの好みの「渋い」沢を選んだ。代塚山はエリア飯豊の右下隅にある登山道のない山である。沢を遡り下降して代塚山周辺のブナ林を楽しんだ。

10月11日(日)

道の駅にしあいつで仮眠し、日の出とともに出発する。しかし、飯豊の山が雨雲で覆われている。近づくにつれて雨が降ってきた。嫌な予感。祓川山荘の駐車場まで車ではいるために、林道のゲートの鍵を借りに行ったところ、管理人から「代塚山は三角点もあるし、展望のいい良い山だよ」と言われた。後から思うと、展望がよいのは残雪期のことだろう。祓川山荘の駐車場に着いたときは雨が降っていたが、予報では天気は回復するはずだったので、雨がやむまで車で待った。9:55に駐車場を出発した。予定より出発が大分遅くなってしまった

駐車場から5分で入渓点。本流を見送って白布沢に入る。しばらくならかなゴロが続く。山の幸を探しながらのんびり歩く。1時間ほど歩いて十五黒沢の出合に着いた。代塚山に突き上げる沢が本流だろう。2:3くらいで十五黒沢の水量が少ない。十五黒沢の出合は貧相な感じだった。

標高が800mを越えるあたりから傾斜が急になり、小滝が連続する。ほとんど問題なく登れたが、2段6mの滝の後に6mのツルツルで登れない滝があった。左のルンゼをつめて巻いた。

標高が900mを越えるあたりで少しながらかになるが、倒木が多くて歩きにくかった。山の幸を探しながらのんびり歩く。またしばらくして急になり、小滝が連続する。3mくらいのなんでもない小滝で、私が派手な滑落をしてしまった。

なるべく忠実に沢型をつめ、最後は藪をこいで稜線に出た。鈴木さんはもっと山の幸を探したかったようで、「良さそうな場所があったのに、おいていかれそうだったから諦めた」と恨まれた。ここから代塚山方向に尾根沿いに歩く予定だったが、稜線直下は藪が手強く、日が暮れる前にどこまで行けるか心配になった。しかし、歩き出すと仕事道のような踏み跡があり、計画していた下降点まで進むことができた。

よもぎ沢に下降を始めるが、幕場探しが日暮れとの競争になる。計画では750m付近の二俣まで下る予定だったが、950m付近の二俣で泊まることにした。出発が遅くなっ



たので、幕場が確保できるか心配だったが、なんとか4人泊まれるスペースを作った。焚火もできたし、山の幸も楽しめたので、楽しい夜となった。

10月12日(月)

950mの二俣から左俣に入った。すぐに水がなくなり、ガレ沢となったので、左の尾根に上がった。そのまま代塚山まで藪をこいだ。藪はそれほど強くなかった。所々、草が薙ぎ倒された様な場所があった。最初は熊が暴れたのかと思ったが、多分先週の台風の爪跡だろう。

代塚山山頂はブナに覆われて、展望はなかった。三角点が見つからなかったので、ここが代塚山山頂か心配だった。GPSで確認したところ、代塚山山頂と出たので安心した。GPSの威力を知った。

代塚山から北西の方角をめがけて下る。急だったので、トラバース気味に森の中を下った。標高1000m付近から沢に降りた。

小滝は続くが、どれも簡単に下れる。この沢の下りには、ザイルもお助け紐も使わなかった。

標高900mあたりから沢はなだらかになり、ハイキング気分でブナ林を眺めながら下る。昼過ぎに十五黒沢出合を過ぎ、そこから約30分で祓川山荘の駐車場に着いた。終わってみれば、「渋い」沢とブナ林を楽しめた沢旅だった。



上：代塚山山頂風景
右：ブナの大木



【グレード】白布沢十五黒沢、よもぎ沢 遡下降で2級

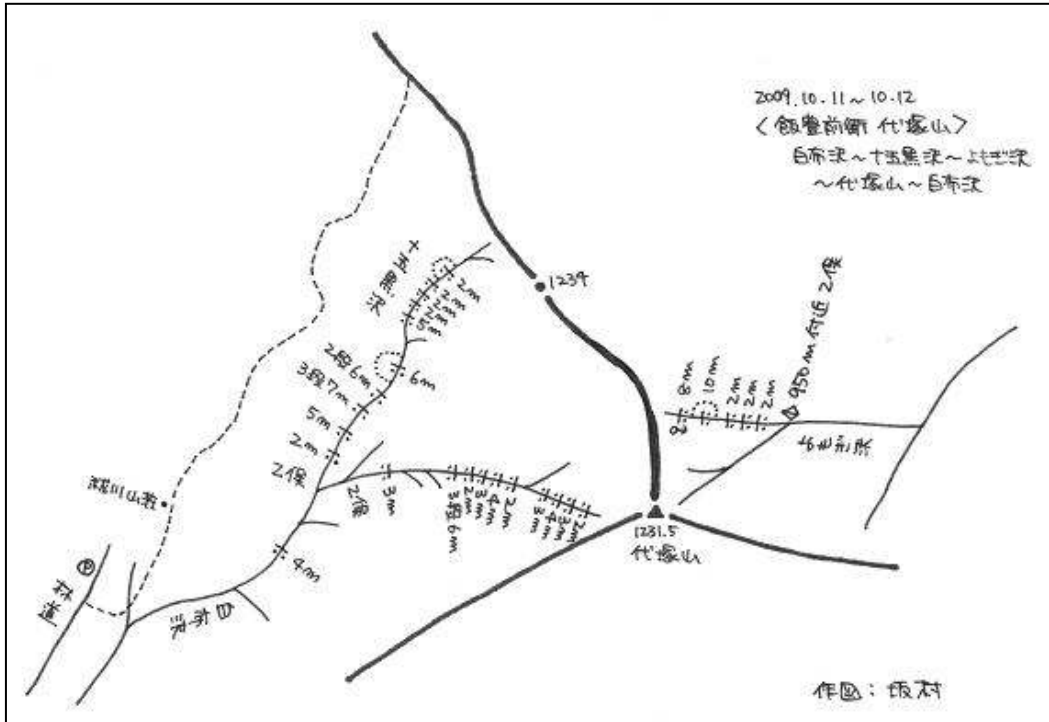
【行程】

10/11 駐車場(9:55発)～入渓点(10:00)～二俣(10:50)～稜線(14:00)～よもぎ沢下降点(15:15)～幕場(16:40)

10/12 幕場(8:05)～代塚山(9:50-10:15)～十五黒沢出合(12:25)～入渓点(13:05)～駐

車場(13:10)

【地図】大日岳 川入



遡行図